

コロナ罹患後症状にみられる男性ホルモンの低下と変異株別の割合

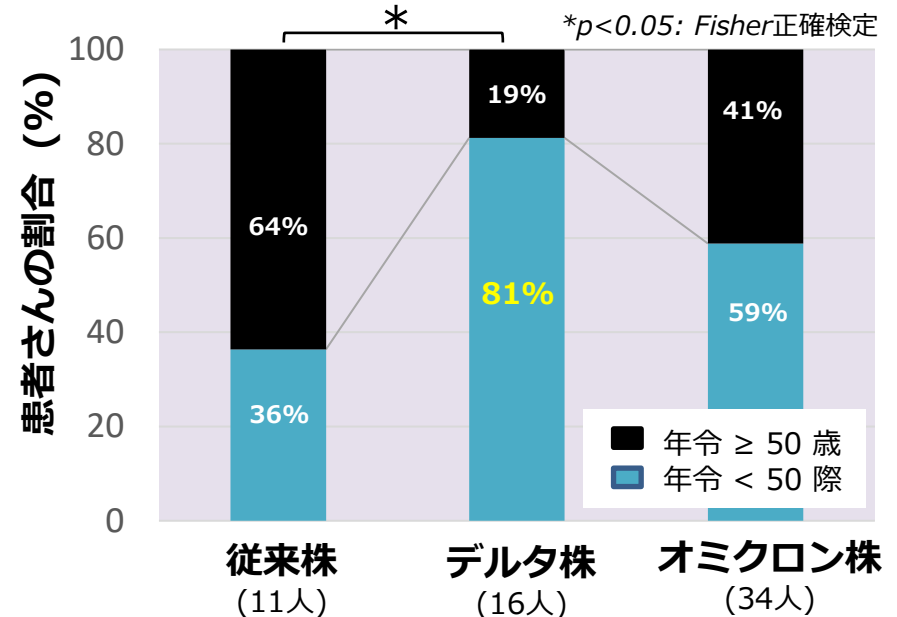
2021年2月から2023年4月に受診された新型コロナウイルス感染症罹患後症状の男性患者さん310人を対象としてデータを分析しました。

✓倦怠感や頭痛・不眠などのコロナ罹患後症状の男性において、**男性更年期症状**を疑って血中の遊離テストステロンという男性ホルモンを測定すると、測定した患者さんのうち**52%に男性ホルモンの低下**が見られました。

✓従来株・デルタ株・オミクロン株へと変異株の出現とともに、株別の男性ホルモン低下患者さんの検出率は47%・51%・54%と**徐々に増加**しました。

✓特に**50歳未満の若い男性**において、男性ホルモンの低下例が目立ち、この傾向は**デルタ株の流行期に最も多かった**ことがわかりました（右図）。

男性ホルモンの低下が見られた
コロナ後遺症患者さん (61名) の内訳



男性の新型コロナウイルス感染症罹患後症状の一部には、**男性ホルモンの低下が関与している可能性が考えられました。**